

第4回

| | | |
|--------|-------------------------|---------|
| ■日時・場所 | 令和2年9月1日（火）午後7時～午後8時45分 | 西市民センター |
| ■参加者数 | 8人 | |
| ■講師 | 福岡テンジン大学 岩永 真一（代表） | |
| ■テーマ | 「誰もが持つリーダーシップとは」 | |

第4回の流れ

岩永代表の進行（ファシリテーター）でスタート

①令和元年度に実施した3回の講座の振り返り

②話題提供

健康とは？

→病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも精神的にもそして社会的にも、すべてが満たされた状況。

→「孤独でない」ということ。

→地域活動をすることは、地域に住む人を健康にしていくこと。



③誰もが持つリーダーシップとは？

- ・他人に（良い）影響を与える個性。どんな人にも「個性」はある。個性とは「思考のクセ×言動」
- ・「思考のクセ」＝育ってきた過程で身に着けてきた、人それぞれの考え方。
- ・自分の「思考のクセ」を理解することで、よいリーダーシップを発揮できる。

【コントローラー】タイプ・・・行動的、思った通り物事を進めたい、過程より結果重視、物言いは単刀直入、他人からの指示は嫌い。

【プロモーター】タイプ・・・アイデアマン、人が好き、飽きっぽい、新しいことを立ち上げるのが得意、細かいことは気にしない

【サポーター】タイプ・・・人を援助することを好む、協力関係を大事にする、気配り上手
ノーと言えない、自分の感情を抑えがち

【アナライザー】タイプ・・・行動の前に分析、計画を立てて行動、完全主義でミスを嫌う、人とのかかわりは慎重、感情はあまり出さない

→チームの中に各タイプの人がいって、各自が自分のタイプを認識して活動することで、良いチームワークが生まれる。

- ・リーダーシップを引き出しあうには・・・まずは目を見て相手の話を「聞く」こと！相手との間に信頼関係が生まれ、互いの個性を引き出しあうことにつながる。

→参加者同士で話す「トークフォークダンス」で、話し手と聞き手の両方の体験をして実践。

④本日の振り返り

振り返り＝体験の言語化！

- 1.何が起きたか？ →目の前で起こったことを言葉にする。
- 2.そしてどう思った？ →それについての自らの考えを表明する。
- 3.で、どうする？ →結果を踏まえ、どう行動するか言い表す。

（1.は簡単。2.3は、これまでの日本の教育で重視されておらず、できない人が多い。）